

# わくわくワークショップ

## 第3回 C 図画工作科

---

「墨と水の世界を味わおう」



# ワークショップメニュー

はじめに 本日の予定

○ 15:00～15:02

1 自己紹介（勤務校，経験年数，担当学年，好きなもの・・・など）

○ 15:02～15:07

2 題材について

○ 15:07～15:15



# ワークショップメニュー

## 3 いっしょにやってみましょう

○ 「墨と水で いろいろな表現に挑戦！」

製作 15：15～16：10

★適当に休憩もしてください。

鑑賞 16：10～16：25

4 おわりに・片付け 16：25～16：30

## 2 題材について

「墨絵」とは？

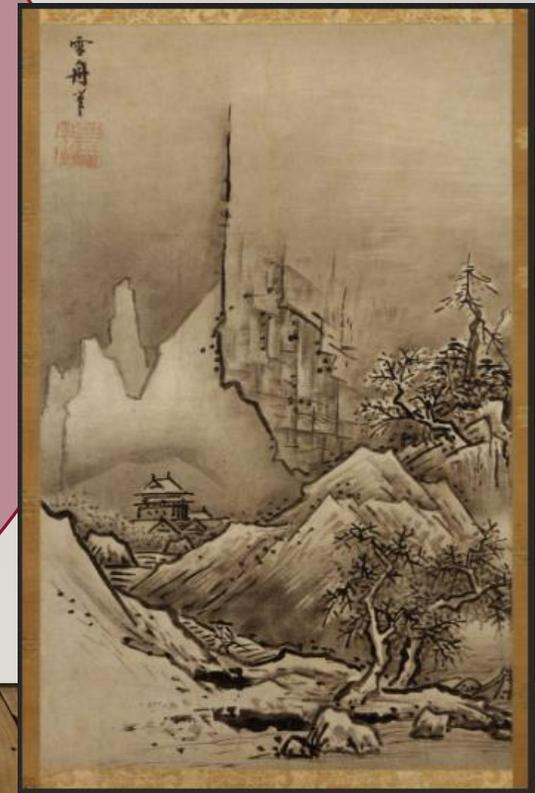
墨絵

墨彩画

白描画

水墨画

仏画



# 2 題材について

日本文教出版 5・6年下

～墨と水から広がる世界～

墨と水を使って和紙に試しながら、思いを広げて絵に表す。

**墨と水から広がる世界**

ぼたっと落ちた墨、すうっとにじんだ形。  
水と和紙に出合ったしゅん間に、墨が動き出す。  
気持ちのままに手を動かし、体のリズムに乗せてかいていこう。

墨と水をつくる形や色の持ちようをとらえ、表し方をくふうする。

試してきかたや色から、表したいことを考える。

墨と水で試しながら表すことを楽しむ。

墨と水でどんな形や色が見つかかな。

墨と水だけで、たくさんの色がでできるんだね。用具の使い方もいろいろ試そう。

にぎった筆をたたいてみよう。

水をゆった上に墨を置くと、筆先の形を変えると、

少しずつ下にたれていくよ。

形を重ねると。

にじんだ形が、うかんでいるように見えるよ。

前毛で。

8ページの活動や、墨については56ページも見てみよう。

墨と水で描いた作品の展示と制作の様子。

39×28cm

40×56cm

28×17cm

28×84cm

この墨で、ヘラクレスオオカブトをかきました。筆を前早く動かして、勢いを表しました。筆の使い方をくふうして、いろいろな線をかいています。

光を通すと見え方が変わったよ。

かたづけ

墨がついたところはきれいにくわい。

表し方をくふうすると、墨と水だけでも思いえがいた世界が広がっていくね。

# 2 題材について 教科書より

日本文教出版 5・6年下

～墨と水から広がる世界～

使ってみよう 材料と用具

## 墨で表そう

**用具**

墨汁 液体状の墨。墨液ともいう。

すずり 墨に水を加えて磨く時に使う。

とき皿 墨や水を入れて使う。いろいろなこさの墨をつくれるように、何まいか用意するとよい。

筆

文ちん 紙をおさえるために使う。

下しき

いろいろな表し方

**水の量** 墨に混ぜる水の量によって、こさが変わる。

**かすれ** 筆にふくませる墨の量を少なくしたり、勢いよく筆を動かしたりすると、かすれる。

**ぼかしにじみ** 墨でかいたところに水をつけたら、水をふくませた紙に墨をたらしたりする。水の量やつける回数によって、ちがった表現ができる。

扇毛を使って

? どうやって表したのかな。

回転させてかく。

穂先を曲げて形を写す。

**和紙の種類と持ちよう**

和紙の原料になるのは、コウゾ・ミヅマタ・ガンビなどの植物。むし、皮をほぎ取り、たたくなどしてほくしたせんいを、紙すきしてほすことで和紙ができる。植物の長いせんいがからみ合っていて、じょうぶである。また、いたみにくく、とても長持ちする。

**材料と主な工程**

ミヅマタ

川ざらし

紙すき

天日ほし

光を通す持ちようを生かして

野原のネコ  
[高さ30cm / 和紙]  
[美濃和紙あかりアート展 (岐阜県)より]

和紙はせんいのすき間から光を通すので、ランプシェードやちようちんにも使われている。部屋の中に光を取り入れる障子も、和紙でできている。和紙の、光を通す持ちようは、生活のさまざまな場面で役立てられている。

# 2 題材について

開隆堂 5・6年下 ～墨から生まれる世界～

**用具のくふう**

削りばし  
段ボールの切れはし  
なわ  
墨  
はけ  
筆

墨の色を変えて

スピードを変えて

段ボールの切れはしで

すきな感じを見つけながら、たのしくかこう。

ここがすれた感じいいわ。

初を使ってかいたのかな。

墨 (和紙 / 92x60cm)

かしたら、たつまきのようにになりました。」 (和紙 / 38x54cm)

墨 (和紙 / 41x31cm)  
「墨にじませると墨のようになりました。太いはけでかされるようにかくと

## 2 題材について

県の図画工作部会の授業づくりの提案より

図画工作科における「自ら学びに向かう子ども」の姿の例

つくり・つくりかえ・つくっていく姿

自分の表現などを見返し、振り返りながら次の表し方などについて考える姿

友達との対話や教師との関わりを自ら設定し、自分の表現に生かそうとする姿

## 2 題材について

目標

期待する  
子どもの姿

評価規準

教師の  
見取り  
価値付け

自分の学びのよさを実感

## 2 題材について

【必須】

育成したい資質・能力を明確化した目標と評価規準の作成

【視点1】

姿を見取って個へ支援

～子どもが学ぶことの意味や価値を

実感できるための教師の見取りと支援～

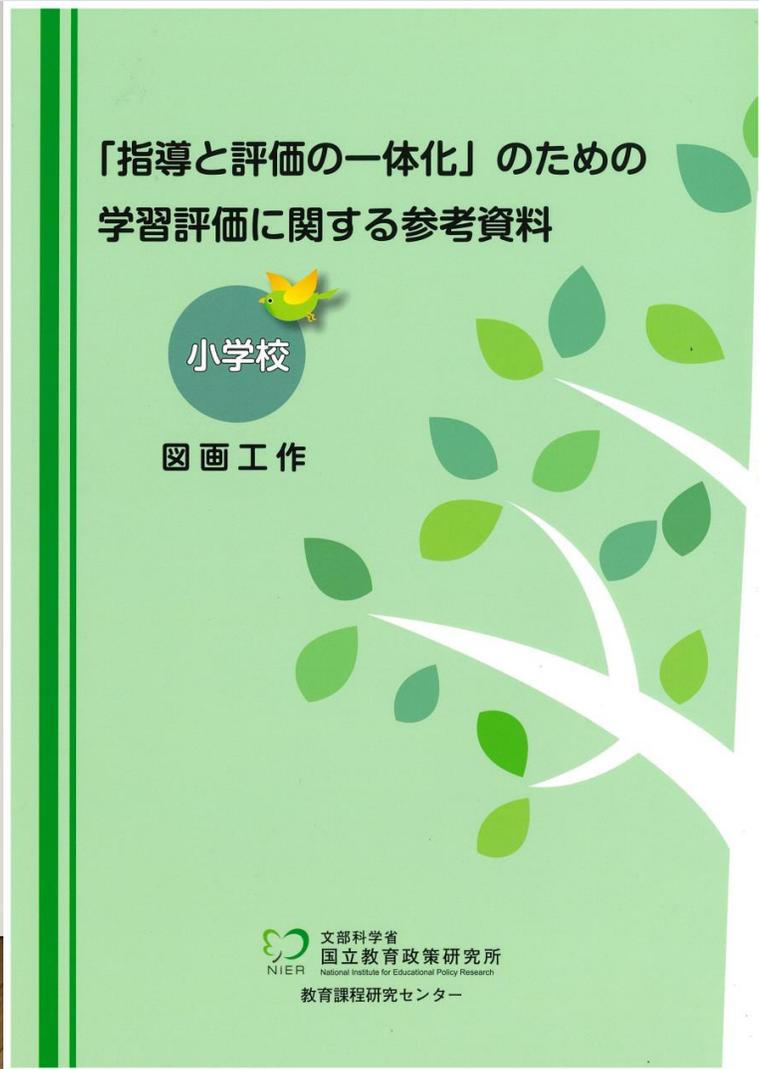
【視点2】

授業づくりで全体へ支援

～子どもが学習ぶの意味や価値を

実感できるための全体への支援～

【必須】 育成したい資質・能力を明確化した目標と評価規準の作成



期待する  
子どもの姿



教師の  
見取り  
支援



# 2 題材について

## ○ 題材の目標

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>墨と水を使って和紙に試しながら, 思いを広げて表すときの<b>感覚や行為を通して, 動き, 奥行き, バランス</b>などを理解する。</li> <li>表現方法に応じて<b>墨を活用</b>するとともに, <b>前学年までの水や筆</b>などについての<b>経験や技能</b>を総合的に生かしたり, <b>表現に適した方法</b>などを組み合わせたりするなどして, <b>表したいことに合わせて表し方を工夫</b>して表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>墨でかいて感じたこと, <b>想像したこと, 見たことから, 表したいことを見付け, 形や色, 材料の特徴, 構成の美しさなどの感じ</b>などを考えながら, どのように<b>主題を表すか</b>について考える。</li> <li>自分たちの作品の<b>造形的なよさや美しさ, 表現の意図や特徴, 表し方の変化</b>などについて, 感じ取ったり考えたりし, <b>自分の見方や感じ方</b>を深める。</li> <li><b>動き, 奥行き, バランス</b>などを基に, 自分の<b>イメージ</b>をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>主体的に</b>墨と水を使って和紙に試しながら, 思いを広げて絵に表す<b>学習活動</b>に取り組み, <b>つくりだす喜び</b>を味わうとともに, <b>形や色</b>などに関わり, <b>楽しく豊かな生活</b>を創造しようとする。</li> </ul>

**知識及び技能**  
知識

墨と水を使って和紙に試しながら, 思いを広げて表すときの感覚や行為を通して, 動き, 奥行き, バランスなどを理解する。

教科書の④⑤⑥などでは, 表した形の動きを捉えている。④⑤⑥は色の濃さなどによる奥行きを捉えて表している。⑦は線による動きや, 画面のバランスをとらえて表している。

**技能**

表現方法に応じて墨を活用するとともに, 前学年までの水や筆などについての経験や技能を総合的に生かしたり, 表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして, 表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。

教科書の⑧は色の濃さを工夫しようとしている。⑨⑩では, 筆の形状や動かし方を試す姿が見られる。⑪の作品では筆をたくようにして木を表したり, ⑫では筆を素早く動かして勢いを表したりするなど, 用具の使い方を工夫している。

**思考力, 判断力, 表現力等**  
発想や構想

墨でかいて感じたこと, 想像したこと, 見たことから, 表したいことを見付け, 形や色, 材料の特徴, 構成の美しさなどの感じなどを考えながら, どのように主題を表すかについて考える。

教科書の⑬は, 製作途中の作品を少し持ち上げ, 形や色のバランスを客観的に確かめながら, 次の展開を考えている。⑭はにじんだ形が浮かんでいるように見えるというイメージを基に, 表し方を考えている。

**鑑賞**

自分たちの作品の造形的なよさや美しさ, 表現の意図や特徴, 表し方の変化などについて, 感じ取ったり考えたりし, 自分の見方や感じ方を深める。

教科書の⑮では, 木枠に試した作品を貼り, 障子のように光を探り入れながら墨の美しさを感じられるようにしている。

**自分のイメージをもつこと**

動き, 奥行き, バランスなどを基に, 自分のイメージをもつ。

**学びに向かう力, 人間性等**

主体的に墨と水を使って和紙に試しながら, 思いを広げて絵に表す**学習活動**に取り組み, **つくりだす喜び**を味わうとともに, **形や色**などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

教科書の⑯では何枚も試しがきをしながら, さらに目の前の墨が動き出す様子をじっくりと見つめ, よさや美しさを捉えようとしている。墨で何をかくかではなく, 何ができるかということを見守り自身が実感している瞬間である。

## 2 題材について

### 【図画工作科の目標】

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次の通りに育成することを目指す。

## 2 題材について

### 【図画工作科の目標】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方を工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

## 2 題材について

### 【第5学年及び第6学年の目標】

### ★学習指導要領より★

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり、表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、造形的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

## 2 題材について

### ○ 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 墨と水を使って和紙に試しながら、思いを広げて表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランスなどを理解している。</li><li>・ 表現方法に応じて墨を活用するとともに、全学年までの水や筆などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、墨でかいて感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。</li><li>・ 動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ つくりだす喜びを味わい、主体的に墨と水を使って和紙に試しながら、思いを広げて絵に表す学習活動に取り組もうとしている。</li></ul>

# 2 題材について

## ○ 評価規準

### 各教科における評価の基本構造

教科書の「学習のめあて」「活動の後で」は、資質・能力の三つの柱に基づいて設定しています。

学習指導要領に示す  
目標や内容

知識及び技能

思考力, 判断力,  
表現力等

学びに向かう力,  
人間性等

観点別学習状況評価の  
各観点

- ・ 観点ごとに評価し、児童生徒の学習状況を分析的に捉えるもの
- ・ 観点ごとに ABC の 3 段階で評価

知識・技能



思考・判断・表現



感性,  
思いやりなど  
※個人内評価



主体的に学習に  
取り組む態度

国立教育政策研究所教育課程研究センター「学習評価の在り方ハンドブック」 参考

「指導と評価の一体化」のための  
学習評価に関する参考資料

小学校

図画工作



文部科学省  
国立教育政策研究所  
National Institute for Educational Policy Research

教育課程研究センター

# ★ 学習指導要領より ★

## 【共通事項 (I)】

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
ア	自分の感覚や行為を通して、形や色に気付くこと。	自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。	自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。
イ	形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。	形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

## 2 題材について

### ○ 授業後に期待する子供の姿

墨や筆などの限られた材料や用具を使い、  
豊かな表現ができることを楽しみ、  
試しながら表現を深めていくことに喜びを感じている

# 2 題材について

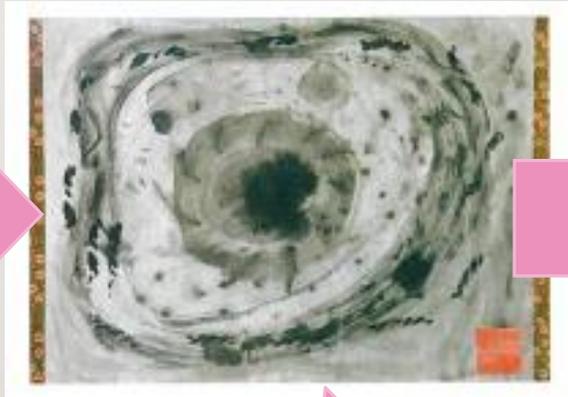
## ○ 他題材（日文）との関連



5・6年上 絵  
「消してかく」

白・黒のバランス  
美しさ

5・6年下 鑑賞  
「わたしの感じる和」



5・6年下 工作  
「おもしろ筆」

本題材



### 3 いっしょにやってみましょう

- ① いろいろな 表し方を 試してみよう
- ② 試した表し方を 組み合わせて 作品を 仕上げよう
- ③ 作品に 題名を つけよう (鑑賞タイム)



### 3 いっしょにやってみましょう

- 【用具】
- ・習字用 筆 太・細
  - ・絵の具用 筆
  - ・刷毛
  - ・縄
  - ・割り箸
  - ・段ボール片 など

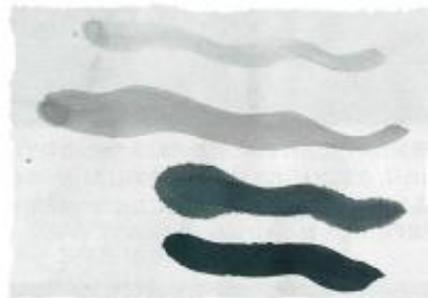
### 3 いっしょにやってみましょう

- |       |          |       |       |
|-------|----------|-------|-------|
| 【基底材】 | ・ 習字用 半紙 | 【その他】 | ・ 水入れ |
|       | ・ 奉書紙    |       | ・ 雑巾  |
|       | (版画用紙)   |       |       |
|       | ・ 障子紙など  |       |       |

★「和紙」がよい。

# いろいろな表し方を試す

## いろいろな表し方



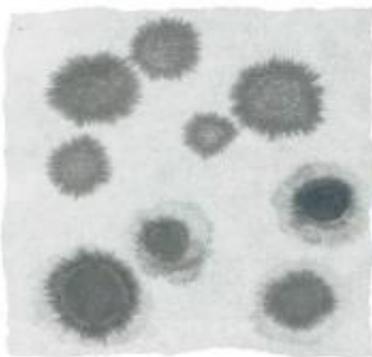
### 水の量

墨に混ぜる水の量によって、こさが変わる。



### かすれ

筆にふくませる墨の量を少なくしたり、勢いよく筆を動かしたりすると、かすれる。



### ぼかしにじみ

墨でかいたところに水をつけたり、水をふくませた紙に墨をたらしたりする。水の量やつける回数によって、ちがった表現ができる。

## 刷毛を使って

? どうやって表したのかな。



回転させてかく。



穂先を曲げて形を写す。

## 和紙の種類と持ちよう

和紙の原料になるのは、コウゾ・ミツマタ・ガンピなどの植物。むして、皮をはぎ取り、たたくなどしてほくしたせんいを、紙すきしてぼすことで和紙ができる。植物の長いせんいがからみ合っていてきているので、じょうぶである。また、いたみにくく、とても長持ちする。



用具を変えて

水の量を変えて

紙を変えて

# いろいろな表し方を試す ～水の量を変えて～

水の量 多

ぼかし  
にじみ

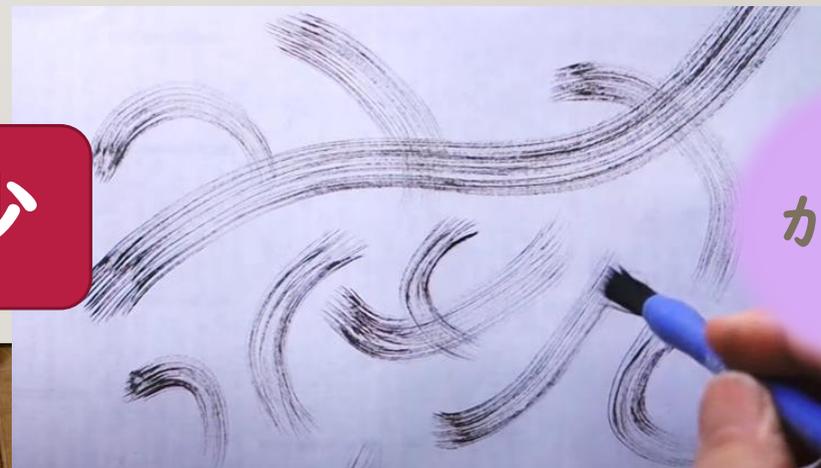
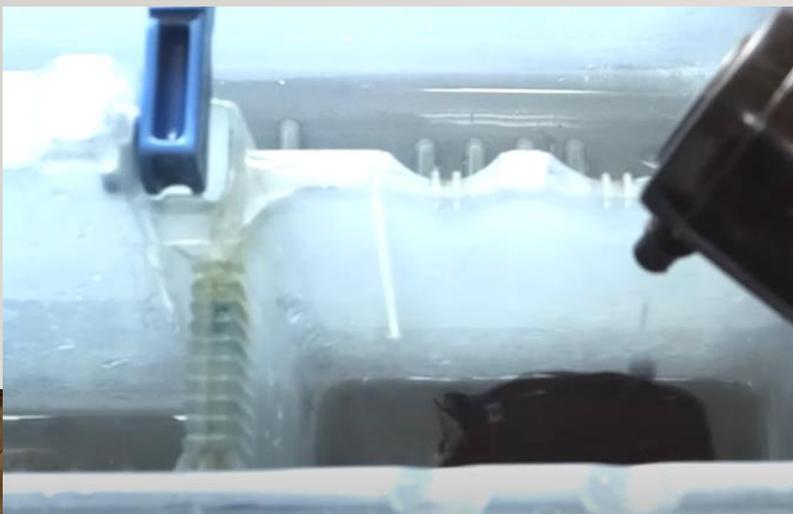
水→墨

墨→水

グラデーション

水の量 少

かすれ

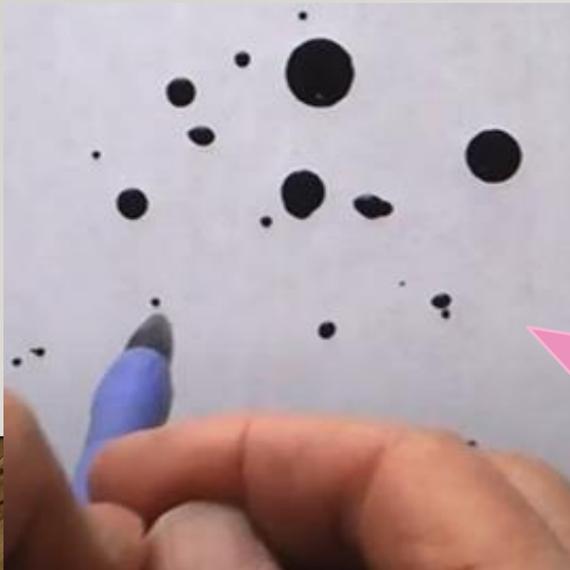


# いろいろな表し方を試す ～用具を変えて～

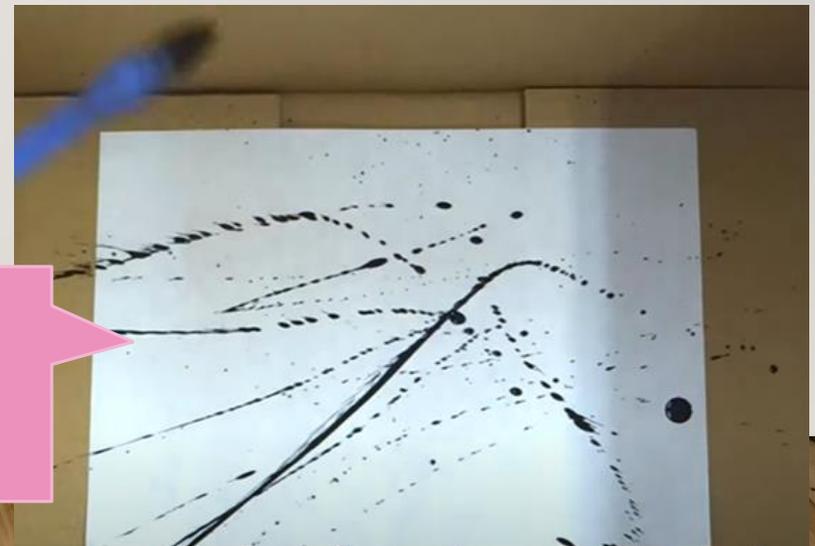
## 絵の具用 筆



### 筆先でスタンプング



### たらす



### 振る in BOX

# いろいろな表し方を試す ～用具を変えて～

刷毛



回転



押す

縄



段ボール片



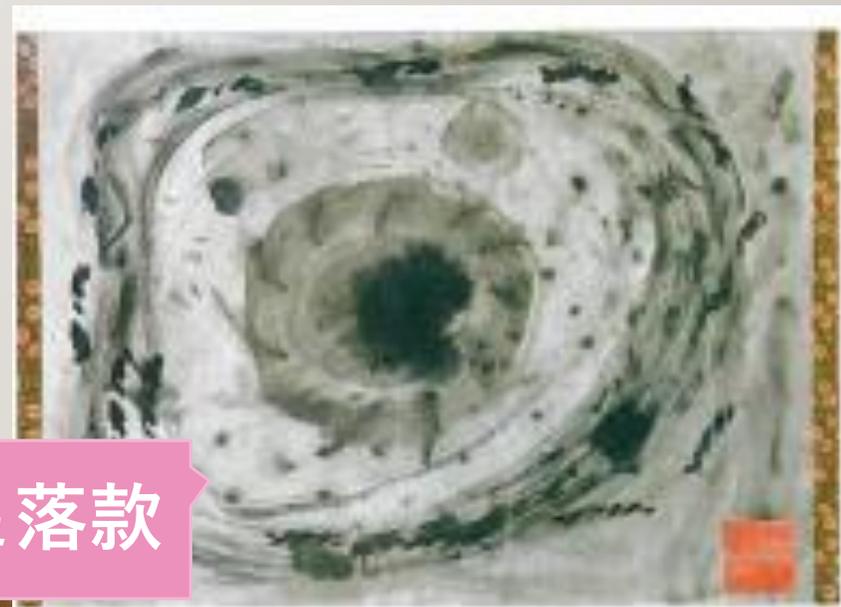
穂先を凹ませて引く



# 試した表現を組み合わせる



台紙（色画用紙）に貼る



表装（千代紙）& 落款

### 3 いっしょにやってみましょう ～omake～

低学年 「出てこい ふしぎなもよう」

#### 【準備物】

- ・クレヨン白
- ・奉書紙
- ・食紅を溶いた霧吹き（赤・黄・青）

#### 【手順】

- ① 奉書紙に好きな模様を白クレヨンで描く。
- ② 好きな色の霧吹きを 奉書紙に吹き付ける。  
（1色でなくてOK）
- ③ 模様が浮かびあがる。

# 題名を考える



- ① 自分で 作品に 題名をつけて付箋に書く。→ 作品の裏に貼っておく。
- ② 隣の人 の 作品を鑑賞し、題名を考え、付箋に書く。理由・自分の名前も忘れずに。机に貼る。
- ③ 自分の題名を 見せながら 隣の人とその理由等を話す。（質問OK）
- ④ 同じグループ or 同じ列 で繰り返す。

# 参考までに・・・

NHK for school

「キミなら何つくる？」



キミなら何つくる？

和の作品を味わおう！

CHAPTER [あらすじを読む](#)

 scene 02  
虎の襖絵

[+ ないようを読む](#)

再生開始 00 : 00 ~ 再生終了 10 : 00 [決定](#)

キミなら何つくる？

えがこう！思いのままに墨（すみ）

CHAPTER [あらすじを読む](#)

お笑いコンビ「COWCOW」の善し（よし）さんは、絵をかくのがとっても得意。図工大好きなよしさんといっしょに、『キミなら何つくる？』。

 scene 01  
墨はいろいろな濃さがつくれる

[+ ないようを読む](#)

 scene 02  
“にじみ”と“かすれ”

シェアする [?](#)



# アンケートのお願い

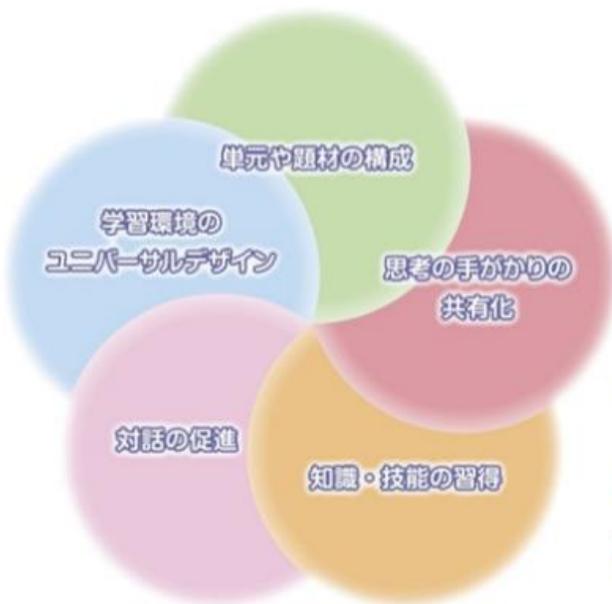
ご参加いただいた皆様の声を基に、今後のワークショップをより充実させていきたいと考えております。  
アンケートにご協力ください。忌憚のないご意見をどうぞよろしくお願いいたします。



# さらに深く学びたい方へ

本校研究図書のご案内

全218  
ページ  
フルカラー



## 授業を変える

5つの視点

香川大学教育学部附属坂出小学校 刊行物案内

ワークショップご参加特別価格

期間限定特別価格 (令和5年2月28日まで)

~~2000円~~ → 1800円

サンプルページは裏面または本校ホームページより  
ご覧になれます。お申込用 FAX はこちらから



書籍購入 QR コード

### 授業改善の第一歩をこの1冊から

授業づくりで大切なことを5つの視点としてまとめました。それらの視点なぜ大切なのか、また、それぞれの視点について授業の中でどのように働きかけるのかを、実践事例に沿って具体的に示しています。すぐに授業づくりに活用できるように、すべての実践事例において、単元及び題材計画と板書写真、子供たちの様子が伝わる写真や表現物を掲載しています。さらに、実践事例に加え、元教科調査官(道徳)七條正典先生や香川大学坂井聡先生など大学の先生方から専門的なコメントをいただき掲載しております。より詳しい内容を知りたい方は、本校ホームページよりご覧ください。



本校ホームページ

見やすく  
分かりやすい  
誌面構成

具体的な  
発問

カラー  
アイコン

働きかけの  
詳細

板書記録

その他「各教科のQ&A」「ちょっとひと工夫」など、お役立ち情報をたくさん掲載しています。

UD 事前の質問紙調査の結果から、友達を「許せなかった」「許せなかった理由」のある人数をグラフで表し、視覚的に数値を大きくするとともに、それぞれの理由も提示し、違う立場の友達がいることや、同じ立場でもその理由には多様性があることに気付かせます。

UD 心メーターは、微妙な心の揺れ動きを色の割合で表現できる道具です。

学習活動3 教材本文を読み、ゆきえさんを許せるかどうかを再度心メーターに表し、活動2から変化させた理由を話し合う

対話 「許せる」「許せない」の2つの気持ちをお互いとして観察に示します。再度、各自の心メーターに気持ちを表し、心メーターが動いた子どもには授業上の名前磁石を移動させます。こうすることで、互いの考えの異同が明確になり、相互に聞いてみたいという思いを高め、対話が活性化します。

対話 「許せる」「許せない」の2つの気持ちを対立軸として観察に示します。再度、各自の心メーターに気持ちを表し、心メーターが動いた子どもには授業上の名前磁石を移動させます。こうすることで、互いの考えの異同が明確になり、相互に聞いてみたいという思いを高め、対話が活性化します。

学習活動4 本時を振り返り、まとめをする

対話 「相手の気持ちを察知する」とはどういうことですか。

対話 「思いやりのある行動」とはどういう行動ですか。

対話 相手の気持ちに気付いて、お互いが笑顔になれる行動をするということです。

# さらに深く学びたい方へ

道徳の参考図書のご案内



## 第1章

### 道徳科の授業づくり基礎・基本

- 1 「道徳教育の目標」と「道徳科の目標」を確かめよう
- 2 道徳科で大切にしたい学習を理解しよう
- 3 内容項目を深く理解しよう
- 4 教材を読み込み、中心的な発問と基本発問を考えよう
- 5 学習指導案を作成しよう
- 6 指導方法を工夫しよう
- 7 評価について理解しよう
- 8 家庭や地域に発信しよう



## 第2章

### さらなる充実を目ざして

- 1 若手教員に向けてのメッセージ
- 2 子どもたちの問いから始まる授業
- 3 子どもの自己評価や相互評価を、教師が行う評価に生かす
- 4 若年研修の在り方・授業研究の工夫
- 5 メタ認知を促す授業づくり
- 6 道徳科の授業を支える学級経営



## 第3章

### 「特別の教科 道徳」の授業事例 (小学校)

- 【低学年】
  - 1 およげないりすさん
  - 2 ないた赤おに
  - 3 黄色いベンチ
- 【中学年】
  - 4 絵葉書と切手
  - 5 心と心のあくしゅ
- 【高学年】
  - 6 スランコ乗りとピエロ
  - 7 ロレンスの友達
  - 8 銀のしよく台
  - 9 道子さんに出したパス
  - 10 のりづけされた詩
  - 11 友香のために (モラルジレンマ教材)



# わくわく授業づくりワークショップのご案内

香川大学教育学部附属坂出小学校

## 令和4年度 わくわく授業づくり ワークショップ

共催：香川大学教職大学院・松輪会坂出支部

子供がときめく学びを  
一緒に考えましょう！

- 参加費 無料
- 対面研修 オンライン併用
- 学校単位の参加 歓迎
- 途中参加 途中退出 OK

本校では、平成30年度から計23回にわたって授業づくりワークショップを行ってきました。

今年度は、年間5回、対面での研修会（第1・4回はオンライン併用）を行いたいと思います。各回の具体的な内容は、開催の約3週間前にお知らせいたします。申込は、裏面にあるQRコードからGoogleフォームにてお願いいたします。オンラインで参加される場合は、開催日前日までに「入室用IDとパスワード」をお伝えします。

昨年度の様子はこちらから  
ご覧ください



香川大学教授  
本校校長 坂井 聡

©新型コロナウイルス等の影響により、中止または変更する場合があります。その際は、本校HPにてお知らせいたします。お申込いただいた方には、直接メールいたします。



<p>8月26日(金) 15:00~16:30</p> <p>3</p>  <p>対面のみ</p>	<p>A: 体育科</p>  <p>単元構成や教材・教具について、実技を通して考えましょう。</p>	<p>B: 音楽科</p>  <p>「学び」と「楽しさ」を両立した活動を一緒にやってみましょう。</p>	<p>C: 図画工作科</p>  <p>教材づくりや、作品の鑑賞を一緒にやってみましょう。</p>	<p>D: 家庭科</p>  <p>簡単なのに本格的! ミシンでの制作を体験しませんか?</p>
<p>10月7日(金) 18:30~20:00</p> <p>4</p>  <p>オンライン併用</p>	<p>「さ・ぬ・き力」(非認知能力)を育てる環境づくりについて part2</p>  <p>本校の実践を例に挙げながら、各教科の授業の中で非認知能力を発揮させる働きかけを紹介します。複数の実践例を基に、どのような働きかけが有効であるかをみなさんと一緒に考えていきたいと思います。また、大学の先生をお招きして、非認知能力に関するご講演も予定しています。</p> <p>*主催は四国地域教職アライアンス 香川大学センターです。</p>			
<p>2月10日(金) 15:00~16:30</p> <p>5</p>  <p>対面のみ</p>	<p>A: 道徳科</p>  <p>授業のねらいに迫る中心発問を一緒に考えましょう。</p>	<p>B: 理科</p>  <p>子供が夢中になって取り組める教具を使って、実験してみましょう。</p>	<p>C: 保健室経営</p>  <p>子供がよりよく生きるスキルについて一緒に考えましょう。</p>	

申込はHPからできます→



# 本校Instagramのご案内



Please  
Follow  
Us!

